

とまこちゃん通信 VOL.11

2017年3月



☆ホームページみてね！☆：tomato-dc.com

とまと歯科クリニック

(又は「とまと歯科 託児」で検索)

☆今回のテーマ☆ 「研修旅行@かまた歯科」

2月4、5日に院内旅行で宮崎県のかまた歯科・かまたキッズデンタルパークを見学してきました。院長の鎌田秀一先生は、私の所属している日本口腔育成学会の代表理事を務めていらっしゃいます。NHKの「プロフェッショナル～仕事の流儀～」という番組で以前取り上げられた歯科医師、山形県の熊谷崇先生に20年前から師事しておられる先生です。なので、今とまと歯科でお伝えしている、『「ムシバになったら歯医者に行く」が普通の日本を、「ムシバにならないために歯医者に通う」という文化に変えたい!』という考え方は、もともとは熊谷先生が提唱されているものなのです。

かまた歯科でとまとのスタッフみんなと見てみたかったのは、**キッズデンタルパーク**という診療システムです。0歳から小学生までの子どもさんを対象にしていますが一般的な小児歯科とは違うもので、

- ・楽しく遊べることで行きたくなる
- ・正しい知識を楽しく身につける
- ・母子分離により自立心を育てる

という「遊ぶ・学ぶ・自立する」を柱に、口腔内の健康に対する意識を高める場所としてつくられていました。子どもの頃からであれば、望ましい健康価値観と正しい生活習慣をスムーズに身につけさせる事ができる、と考えられたそうです。内装だけでなくそのシステムには子どもたちが興味をもてる仕組みがたくさんあり、2～3歳の小さな子が一人で楽しそうに診療室に入っていき、衛生士さんとお話しをしながらブラッシングされているのが印象的でした。またその中で痛感したのはかまた歯科のスタッフのスキルの高さでした。いろんな意味でとてもいい刺激となった研修旅行だったと思います。

これからもスタッフのみんなと一緒に勉強をかさね、全員が同じ方向をむいて、知識、技術の向上に努めていこうと思います。そして患者さんが満足し、スタッフが元気になる歯科医院を目指したいと心から思っています。

院長 広瀬 佐都子



「キッズデンタルパーク」の診療室



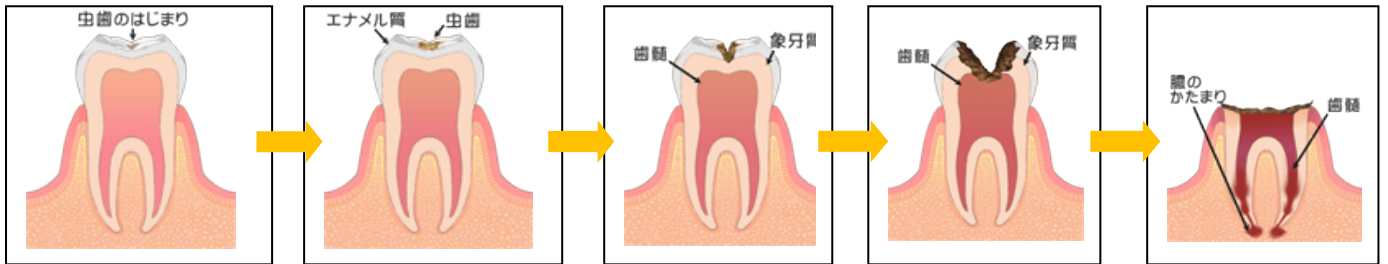
かまた歯科医院にて
平成29年2月4日(土)
前列右側 かまた歯科・
かまたキッズデンタルパーク
鎌田 秀一院長

★おしえて!とまこちゃん★

質問：むし歯を放っておくと、どうなるの??

答え： 歯の表面は「エナメル質」という体の中で最も硬い組織でおおわれているため、**初期段階**のむし歯はゆっくりと進行していきます。しかし、エナメル質の下にある「象牙質」は柔らかい組織なので、むし歯菌が**象牙質に到達**すると、一見小さな穴しかあいていないように見えても、むし歯が大きく広がってしまいます。

さらに放置すると、むし歯は**神経にまで到達**し、強い痛みが起こります。やがて**神経が死に**、腐ると細菌があごの骨にまで広がります。あごの骨が炎症を起こして歯ぐきから膿が出たり、細菌感染を起こして骨髄炎になり、体調不良が続くようになります。また、細菌が血液の中に入り込んでしまうと全身をめぐる肺炎や脳梗塞、心筋梗塞を引き起こしたり、心臓や脳に感染して重篤な後遺症が残ったり、死に至る可能性もあります。

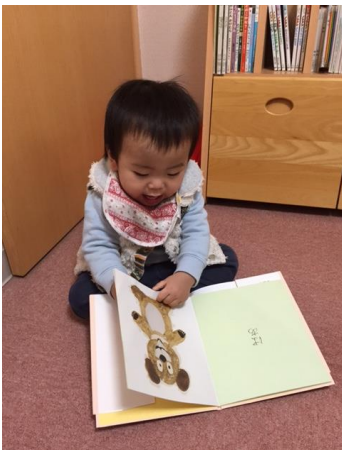


むし歯は「放っておいたら良くなる」ことはありません!

今月の ぷちとまと



じゅんや 惇也くん (1歳6か月)

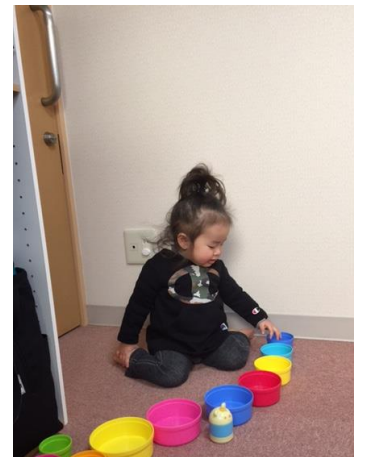


「いない いない ぼあ」を見ながら
「ぼ・ぼ・ぼあ♪」

かんな 葉奈ちゃん (1歳7か月)



☆おひなさま☆
えがお ♥ 満開です!!



コップ重ね こんな並べ方も
あるんだね!!



とまと歯科クリニックの理念： 地域の皆様のお口の健康を守り育てることに全力をつくし、より快適で幸せな人生のお手伝いをします。